

大会宣言(案)

本日われわれは、DC会館において第50回定期大会を開催し、コロナ惨事に便乗した国鉄分割・民営化型の大攻撃と対決して組織拡大の実現をめざす闘いの方針を決定した。

雇用、社会保障制度、医療をはじめ社会の全領域を破壊し、安保戦争法を強行し、改憲に突き進んだ安倍政権は、コロナ危機の前になす術を失い、腐敗にまみれて退陣した。しかし、後を継いだ首相・菅義偉はごりごりの新自由主義者だ。安倍以上に強権的・独裁的な体制で危機を乗り切ろうとしている。新型コロナの蔓延と世界大恐慌という歴史的な危機に突き動かされて「改憲に挑戦する」「敵基地攻撃能力の保有」「行政改革」を押し立て「戦争のできる国」への道にのめりこもうとしている。

大倒産・大失業、より極端化された新自由主義攻撃が社会を呑み込もうとしている。しかし、コロナ危機は“労働者”が団結し歴史の前面に登場する条件を広範につくりだした。全世界で労働者が燃え上がる炎のように立ち上がっている。新自由主義攻撃の中で最底辺に突き落とされ、軽んじられ、侮辱されてきた世界中の労働者が本来いるべき場所を自覚し始めたのだ。怒りの声は社会に満ちあふれ、時代が動くこうとしている。日本でも必ず山が動くときは来る。まなじりを決して立ち上がろう。

コロナ感染症の拡大は、JR民営化体制を崩壊させた。3島JRの経営は壊滅的な状態だ。本州3社も巨額の赤字におちいつている。JR貨物も深刻だ。

しかしJR東日本はそれを「千載一遇のチャンス」として、1500億円のコストカット、“整理解雇”を振りかざして、分割・民営化以来の大攻撃に踏み出したのだ。「整理解雇一歩手前」と称する休業命令に関する就業規則改悪を許してはならない。“勤務指定”で労働者を一時帰休に追い落とすことができるこの改悪は、すべての労働者を恒常的に失業・解雇の恐怖のもとにおく究極の雇用解体攻撃だ。大々的な賃下げ攻撃、全系統に及ぶ要員体制・労働条件の白紙的見直し、ワンマン化の全面的な拡大、労働者の使い捨て化、人事賃金制度の改悪、23路線の廃線化、分社化・転籍攻撃への踏み出し、グループ会社の再編と雇用破壊等、これまでは簡単に手をつけることができなかった攻撃がコロナに便乗して一斉に噴き出そうとしている。東労組などは解雇さえしなければ何でも呑むと震えあがってしまったっている。しかしこんな攻撃は必ず破たんする。すべてが矛盾だらけだからだ。年末〜3月ダイ改(21春闘)に向け、直ちに万全の闘争体制を確立しよう。組織拡大のチャンスが到来している。労組なき社会を許すな。“社友会”を解体しよう。反合・運転保安確立。65―70歳まで働ける職場と労働条件を確立しよう。

「民営化すればすべてうまくいく」といつて社会を引き裂き、絶望的な格差拡大社会を生み出した攻撃が目の前で崩壊しようとしているのだ。今こそ国鉄分割・民営化に決着をつけるときだ。1047名解雇撤回に向け胸を張って前進しよう。国家をあげた攻撃と真正面から闘い、団結を守りぬいてきた動労千葉の経験、20年にわたり外注化攻撃と闘いぬいた地平が活きる情勢、時代が到来している。大弾圧を粉碎して前進する関西生コン支部―三労組と共に、階級的労働運動の復権をかちとろう。

全力を尽くして11・1全国労働者集会―改憲・戦争阻止！1万人大行進の成功をかちとろう。労働運動の産業報国会化、総非正規職化・解雇自由・労組なき社会を許してはならない。今年こそ23年間の蓄積が活きるときだ。闘う労働組合の全国ネットワーク、国際連帯闘争のさらなる発展をかちとろう。動労水戸をはじめとする動労総連合の仲間たち、三里塚、沖縄、福島など全国の闘う仲間と連帯して前進しよう。

危機こそチャンスだ。“JR大激動”のこの情勢の中でこそ組織拡大の可能性は開かれる。すべてを組織拡大の観点から！ 職場闘争なくして組織拡大なし！ 反合・運転保安闘争なくして組織拡大なし！ 全組合員の知恵と力を総結集し、今こそ組織拡大を実現しよう。

右、宣言する。

2020年9月26日